

英文解釈の基礎練習[品詞に強くなる]夏期④

NAME[] DATE[/] SCORE[/15]

解答時間 10 分

目標(神大公立大レベル) 15 問中 12 問以上

次の英文を読み、空所(1)～(15)に入る最も適切な語を、下の選択肢から
選び、番号で答えなさい。ただし、同じ語を繰り返し用いてはならない。

The Power of a Study Routine

Many students want to study regularly, but they often fail to begin at the right time. They may wait until they feel motivated. However, motivation does not always come when it is needed. A
5 routine can make studying feel (1) difficult because the first step is already decided. In a (2) situation, students do not have to think about what to do next. They simply follow the same order.

Some students would (3) check their phones than open their notebooks. This is not always because they are lazy. Sometimes the
10 problem is that no clear starting point has been prepared. If students decide, “I will review one page after dinner,” (4) it becomes easier to begin. One benefit of a routine is (5); another is reduced stress. Small actions repeated every day can create a stable rhythm.

15 A routine also saves mental (6). Students often waste time choosing between several tasks. One task may be urgent, (7) another may be more important. If the order is fixed, students can start without delay. Such is the power of a simple plan (8) it can change the whole mood of study. A student who has failed before
20 may feel more (9) when the next action is clear.

Of course, a routine should not control every part of life. Students need rest, change, and free time. A routine is useful when it supports learning, not when it becomes a burden. Many students have improved their habits, and they have felt calmer (10). A
25 good routine can make an otherwise busy day feel more organized. It gives students a quiet sense of (11). It also helps them continue (12) even when they are tired. Routines are not magic,

but they can turn small efforts into real (13). Since then, many students who made one small rule have found that their study life became more (14). In the end, a routine is a practical (15) for making effort easier.

選択肢

- | | | | |
|------------|---------------|--------------|-----------|
| ① progress | ② less | ③ balanced | ④ that |
| ⑤ method | ⑥ since | ⑦ encouraged | ⑧ then |
| ⑨ energy | ⑩ consistency | ⑪ studying | ⑫ whereas |
| ⑬ control | ⑭ given | ⑮ sooner | |

解答

- (1) ② less (2) ⑭ given (3) ⑮ sooner
(4) ⑧ then (5) ⑩ consistency (6) ⑨ energy (7) ⑫ whereas (8) ④ that (9)
⑦ encouraged (10) ⑥ since (11) ⑬ control (12) ⑪ studying (13) ① progress (14) ③ balanced (15) ⑤ method

解答解説

- (1) 正解 ② less

空所の後ろに difficult という形容詞があります。ここでは less + 形容詞「それほど～でない」の形になり、make studying feel less difficult「勉強をそれほど難しく感じさせなくする」となります。

- (2) 正解 ⑭ given

a given + 名詞 は「ある決まった～」「特定の～」という意味の表現です。In a given situation で「ある状況では」という意味になります。

- (3) 正解 ⑮ sooner

would sooner A than B は「B するよりむしろ A したい」という重要熟語です。would sooner check their phones than open their notebooks で「ノートを開くよりスマートフォンを見たい」となります。

- (4) 正解 ⑧ then

If S V, then S V の構文です。then は「そうすれば」の意味で、if 節の結果を受けています。

- (5) 正解 ⑩ consistency

空所は is の補語になる名詞です。One benefit of a routine is consistency で「ルーチンの利点の一つは継続性である」となります。

- (6) 正解 ⑨ energy

空所は動詞 saves の目的語になる名詞です。save mental energy「精神的エネルギーを節約する」という自然な表現になります。

- (7) 正解 ⑫ whereas

前後に完全な節があり、「一方では急ぎの仕事、もう一方では重要な仕事」と対比しています。whereas は「一方で」を表す接続詞です。

- (8) 正解 ④ that

Such is S that ... の構文です。Such is the power of a simple plan that... で「単純な計画の力は非常に大きいので…」という意味になります。

- (9) 正解 ⑦ encouraged

feel + 形容詞(過去分詞) の形です。feel encouraged は「励まされた気持ちになる」という意味で、過去分詞が形容詞として使われています。

- (10) 正解 ⑥ since

since はここでは副詞で、「それ以来」という意味です。have felt calmer since は現在完了形とともに用いられ、「それ以来ずっと落ち着いている」となります。

- (11) 正解 ⑬ control

a sense of control は「自分でコントロールできている感覚」という重要表現です。quiet sense of control で「落ち着いた安心感・自分を管理できている感覚」を表しています。

- (12) 正解 ⑪ studying

continue + Ving の形です。continue studying「勉強を続ける」という意味になります。continue は不定詞も取りますが、ここでは動名詞が適切です。

- (13) 正解 ① progress

make progress「進歩する」という重要

表現です。ここでは turn small efforts into real progress「小さな努力を本当の進歩へ変える」となっています。

(14) 正解 ③ balanced

become + 形容詞 の形です。became more balanced で「よりバランスの取れたものになった」という意味になります。

(15) 正解 ⑤ method

空所は a practical の後ろにあり、名詞が必要です。a practical method for ~ing は「~するための実用的な方法」という意味の表現です。

全訳

多くの生徒は規則的に勉強したいと思っていますが、ちょうどよい時間に始められないことがよくあります。やる気が出るまで待つこともあります。しかし、やる気は必要なときにいつも現れるわけではありません。ルーチンは、最初の一步がすでに決まっているため、勉強をそれほど難しく感じさせなくします。決まった状況では、生徒は次に何をすべきかを考える必要がありません。ただ同じ順序に従えばよいのです。

ノートを開くよりも、むしろスマートフォンを確認したいと思う生徒もいます。これは必ずしも彼らが怠けているからではありません。問題は、明確な出発点が準備されていないことにある場合もあります。もし生徒が「夕食後に1 ページ復習する」と決めれば、始めることがより簡単になります。ルーチンの利点の一つは

継続性であり、もう一つはストレスの軽減です。毎日繰り返される小さな行動は、安定したリズムを作ることができます。

ルーチンは精神的エネルギーも節約します。生徒は複数の課題の中から選ぶのに時間を無駄にすることがよくあります。一つの課題は急ぎかもしれない一方で、別の課題はより重要かもしれません。順序が決まっていれば、生徒は遅れずに始めることができます。単純な計画の力は非常に大きいので、勉強全体の気分を変えることができます。以前失敗したことのある生徒も、次の行動が明確であれば、より励まされた気持ちになるかもしれません。

もちろん、ルーチンが生活のすべてを支配すべきではありません。生徒には休息、変化、自由時間が必要です。ルーチンは、学習を支えるときに役立つのであって、負担になるときではありません。多くの生徒は習慣を改善し、それ以来、より落ち着いた気持ちになっています。よいルーチンは、他の点では忙しい一日をより整理されたものに感じさせます。それは生徒に、静かな自己管理の感覚を与えます。また、疲れているときでも勉強を続ける助けになります。ルーチンは魔法ではありませんが、小さな努力を本当の進歩へと変えることができます。それ以来、小さなルールを一つ作った多くの生徒は、自分の勉強生活がよりバランスの取れたものになったと感じています。結局、ルーチンは努力をより簡単にするための実用的な方法なのです。